株式会社プラスアルファ [パチンコ業界で働く正社員に関する分析データ 2018]

図説報告書

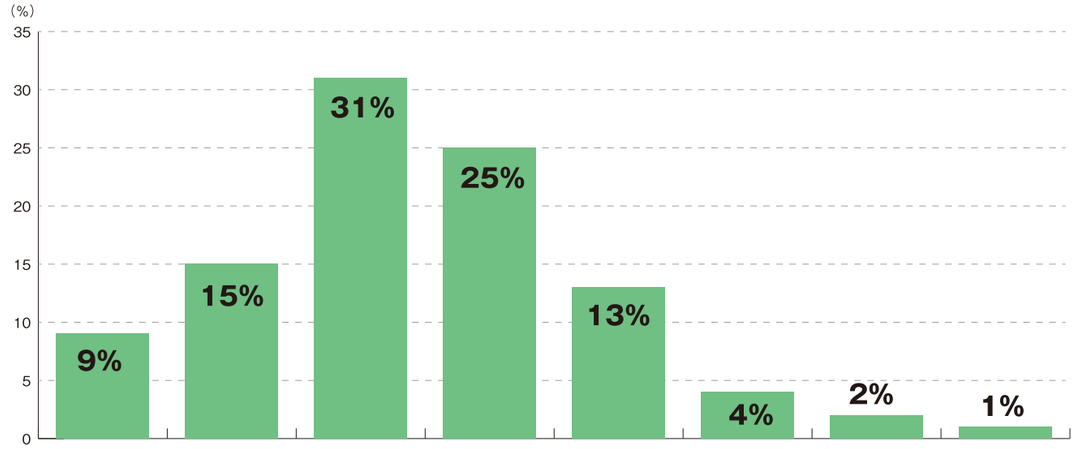
従業員の理想年収はおよそ600万

株式会社プラスアルファは、2015年1月～2018年6月の間に調査したパチンコ業界で働く従業員の年収データの実態を発表した。同社のパチンコ転職ナビサイトにある未来年収査定コンテンツから、約4,000人のサンプルデータを基に算出。職位が上がるにつれ、現在の年収と希望年収との差が減っていき、店長職を一つの目標と考えていることが分かった。

調査概要

- 調査時期 …… 2015 年 1 月～ 2018 年 6 月
- 調査方法 …… WEB アンケート
- 調査対象 …… 業界で勤務する従業員
- 調査人数 …… 累計 4,403 人（重複データ含む）

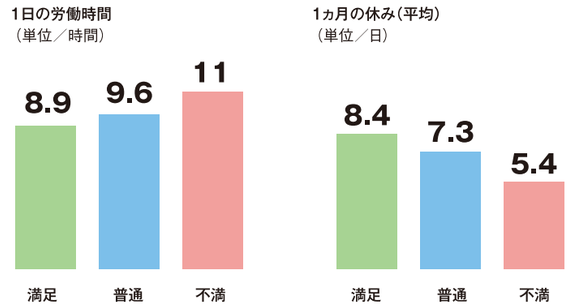
年収分布



現在の年収と希望年収の差（単位／万円）

職位	現在の年収	3年後の希望年収（現在の年収との差）
ホールスタッフ	318	547(▲229)
班長・副主任	372	526(▲154)
主任	444	573(▲129)
副店長	544	608(▲64)
店長	626	652(▲26)
エリア長以上	743	876(▲133)

労働時間・休日による満足度



パチンコ転職ナビのサイトにある未来年収査定コンテンツの集計によると、パチンコ業界の平均年収は400万～600万が約半数の56％を占める結果となった。職位に当てはめると、主任、副店長、店長が該当している。

職位別に3年後の希望年収を調査した結果、店長以下の職位の従業員は550万円前後の年収を希望していることがわかる。また、職位が上がるにつれて、3年後の希望年収と現在の年収の差が小さくなっていることから、パチンコ業界で勤務する従業員は550万～650万円の店長職までを目指していることが考えられる。同サイトによると、エリア長職の3人に1人は店長職に戻りたいと回答しているという。

労働時間・休日による満足度は、1日の労働時間は9時間以内・1ヵ月の休日は8日以上が従業員の満足できる値となっており、この結果は2015年からほぼ同じ数値で推移しているという。

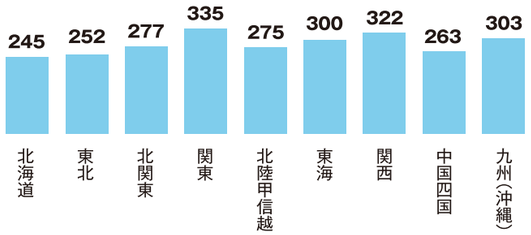
地域別で職位による平均年収の差を見ると、ホールスタッフは北海道で最も低く245万円、関東で335万円と月収平均で約7・5万円の差があることが分かった。班長・副主任も同様に北海道が1番低く、関東が一番多い結果に。主任職は関東・東海が他に比べ高く、月の平均給与は約37・5万円となった。副店長職も関東・東海が高く月の平均給与は46万円という結果となった。店長職では、平均で600万円を超えるのは関東、東海、関西のみとなり、その他の地域では600万円を下回る結果となった。エリア長職は関東が840万円と最も高く、700万円を切る地域が多かった。総じて、北海道は年収が低く、関東は年収が高いことが分かる。

その他に、異業種での正社員経験の調査では、経験者が51％の半数を占め、その中でパチンコ業界と異業種のどちらがいいか調査してみると、63・5％の人が「どちらとも言えない」と回答した。

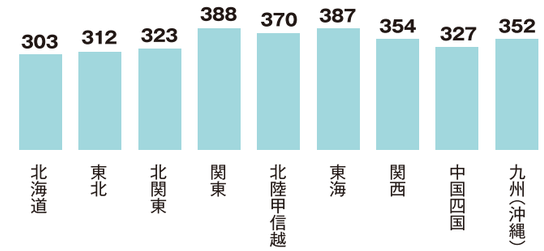
パチンコ業界だからこそのやりがいや楽しさを伝えることが、今後の採用、離職防止に大切なのではないだろうか。

地域別平均年収（単位／万円）

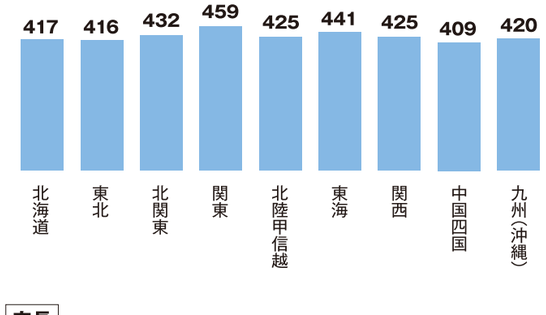
ホールスタッフ



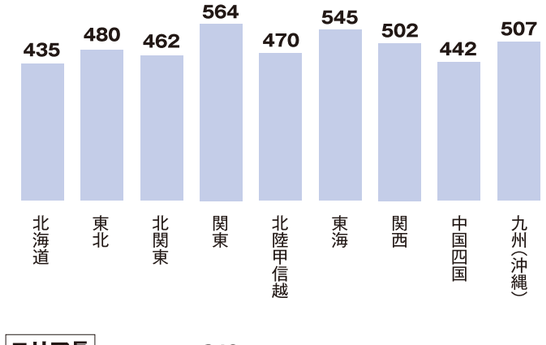
班長・副主任



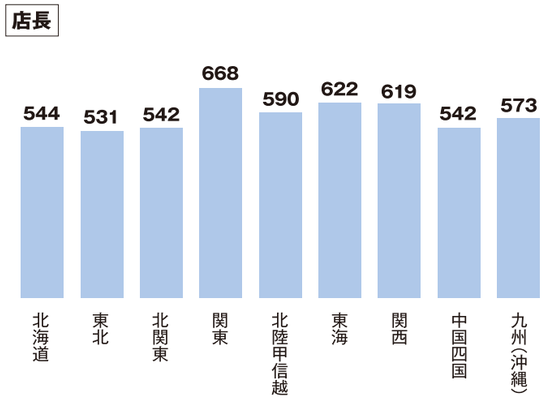
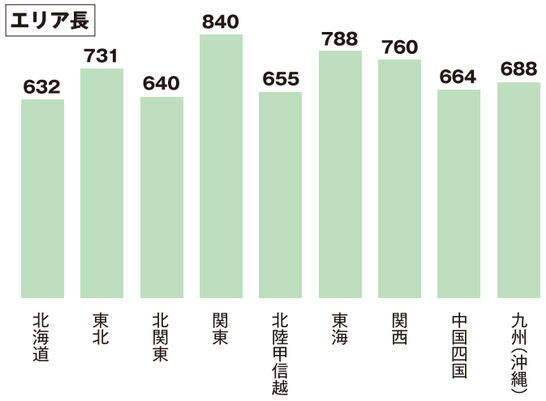
主任



副店長



店長



エリア長